

Patrimoine de l'Unesco, Sites en France

フランスの世界遺産登録数は **37 件**と、**世界第4位**！（2011年7月情報）
そのうちの **3 件**が自然遺産、**1 件**が複合遺産となり、**33 件**が文化遺産である。

行ってみたい世界遺産 **ランキング3** ※あくまで記者の好み♪

第3位 Carcassonne



「カルカッソンヌを見ずして死ぬな」と称えられるヨーロッパ最大の城塞都市「シテ」を中心とした町。まるで中世にタイムスリップした気分が味わえる。（**大人のディズニーランド**とも呼ばれているらしい）ブドウ畑に囲まれたカルカッソンヌはフランス有数の**観光地**。城や教会、いくつもの塔がそびえる石造りの中世の町を頑丈な城壁が囲む様子は、その一帯だけ別の時間が流れているよう。そして夏には音楽や演劇、サーカス、ダンスが融合した**中世フェスティバル**が開催される。行くなら夏がオススメ！

第2位 Paris



“**フランス**”と聞いて、最初に思い浮かぶものは首都の<パリ>や建築物の<エッフェル塔><ヴェルサイユ宮殿>etc…なのは私だけでしょうか？きっと何人かの方には共感してもらえるはず！そんなパリでは、セーヌ川の川岸のうち、シュリー橋からイエナ橋までのおよそ **8km** がユネスコ世界遺産の登録対象になっている。ちなみに絶景のおすすめスポットは、**日中なら**ノートルダム大聖堂を後ろから見渡せるアラブ世界研究所の屋上テラス。**夕方なら**断然、**セーヌ川クルーズ(1時間ほど)**☆パリ市内に流れるセーヌ川を一周し、夕暮れから夜にかけてライトアップされる川沿いのモニュメントや、それぞれ個性のある 30 の橋を眺めながら**「これぞパリ！」**といった景色を存分に楽しむことが出来る。

第1位 Lyon



クロワ・ルースは古くから絹織物の盛んな地区で、織機向けの高い天井を持った建物が立ち並ぶ。**トラブール**と呼ばれる建物全体を結ぶ小さな通路(迷路?)がそこかしこに見られる。その数なんと**200カ所以上**！これは絹織物を運ぶ途中でデザインを盗用されないよう(雨を避けるためという説なども有り)、人目を避けるために作られたとされる。まるで**アリの巣**のように複雑に通路や階段がつながっている。そして**トラブール**を持つこの地区は、第二次世界大戦中、レジスタンスの活動の場としても使われていた。様々な時代に先人たちの抜け道となって来たトラブールは、リヨンならでのもの。

♪トラブル(trabouler=リヨンの方言で<渡る>)について詳しく紹介♪

1つ1つのトラブルに違った雰囲気があって、門を出るとまた別のトラブルの入り口を探したくなる。1つ開けると次から次へと開けなくなってしまう玉手箱のよう！扉の向こうの世界、というのはとても魅力的。まるで物語や映画の世界！（私が数あるフランスの世界遺産の中からこの場所を1位にした理由は、まさにこれ！）トラブルの入り口は普通の人の自宅の玄関口のように（本当に誰かの自宅に出てしまうことも！）になっていて、観光客が入って見学可能な場所については入り口のところにそのような看板がある。詳しい住所のリストについては**ベルクールにある観光局**に行ってもらうことが出来る。※現在では防犯のため閉鎖されている個所もあるので注意！



～まだまだあるよ！Lyonの魅力！！～

Lyonの街には建物の壁いっぱい描かれた美しい“Trompe l’oeil(トロンプ・ルイユ、だまし絵)”を見ることができる。このだまし絵は、歴史や文学作品などのジャンル別にいたる所、様々な建物描かれている。これらの繊細に描かれただまし絵は、シテ・ドゥ・ラ・クレアシオンというアーティスト集団によって描かれている。彼らは壁絵の世界のリーダー的存在で、1978年以來なんと500ものフラスコ画を描いている(Lyonに限らず世界中)。このだまし絵の<お気に入り>を探しに散歩をするのも**素敵**！

どうやらLyonでは<3Dブーム>が20年以上前から到来していた模様♪CGなどを一切使わずアーティストの手描きと言うことがとても信じられない！個人的に大分もだまし絵の街にしたい…

